

後半まで続く果実肥大と秀品性！

(カネコ交配)

トマト

Cf ^{ゆう}優 ^{ふく}福

Tomato, Cf Yufuku Hybrid



カネコ種苗株式会社

TEL. 027(251)1611(代)

後半まで続く果実肥大性と秀品性!
葉かび病に強い春無加温～抑制作型用品種!!

カネコ交配
トマト

ゆう ふく
Cf 優福

Tomata, Cf Yufuku Hybrid

●特性●

- (1) 栽培後半までL級中心の果実肥大性を有し、店持ち性も兼ね備えた完熟タイプの品種です。
- (2) 甘・酸のバランスが良く、食味、食感に優れた品種です。
- (3) 草勢は中強で生育後半まで安定しているため草勢の維持が容易です。
- (4) 低、高温条件下でも着果、着色が安定しており、異常主茎(メガネ)等の生理障害が少ない点が特長です。
- (5) 低温期にかけても着色がスムーズに進む早生性を有します。
- (6) 葉かび病に対して極めて安定した耐病性を有します。(Cf-9)
- (7) その他、ToMV(Tm-2^a)、萎凋病(レース1、2)、半身萎凋病、ネマトーダ、斑点病に安定した耐病虫性を示します。

●栽培要点●

【育苗～定植】

初期の草勢確保のため、やや若苗での定植を行います。元肥のチッ素と加里は抑え気味とし、カルシウムや微量元素を十分に施用します。その後、第2～3段花房開花時期から早めに追い上げる栽培法が適しています。

【摘果】

第1、2段花房は3果、第3段花房以降は4果程度に摘果を行うと好結果につながります。低段の過剰肥大は少ない品種ですが、3段花房開花時に500円玉大以上に肥大した1段目果実については積極的に摘果します。

【灌水】

追い込みに際しては追肥よりも水分補給に重点を置きます。特に高温時期はベツト内だけでなくコンスタントな通路灌水も行います。

また、花弁の開き方が弱い、花弁の色が薄いと感じたときは、その時点で躊躇せずに思い切って灌水量を増加させると好結果につながります。

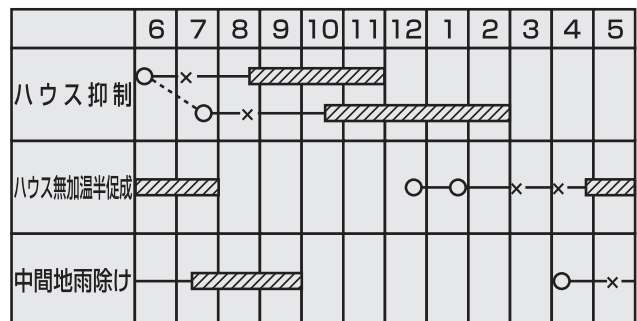
【追肥】

十分な灌水を行っても草勢が弱い場合は追肥を行いますが、反応の早い液肥が好適でその場合1回当たりの追肥量は、チッ素成分で1kg(10a当たり)以下で抑えることが重要です。

【摘芯】

上段花房の着果、肥大を促すため目標最終段花房直下の花房のホルモン処理が終了したらマッチ棒程度の細い位置で摘芯を行います。ただし、草勢が強すぎる場合は摘芯を遅らせます。摘芯後、追肥は一切行わず、灌水のみ継続します。また、摘芯後に発生した側枝は半放任状態とし、上部に繁茂状態を作り、上段果実への直射光線を遮ります。

●栽培作型●



○ 播種期 — 生育期 ▨ 収穫期

カネコ種苗株式会社

〒371-8503 前橋市古市町1-50-12
TEL. 027(251)1611(代)

一般社団法人
日本種苗協会
会員番号 10001号

取扱店